

Local X FORUM

Vol.1



株式会社能作



有限会社菊井鋏製作所



株式会社友安製作所



Konel.kanazawa Inc.

「ものづくり」を活かした 多角的イノベーションの可能性

Featuring 関西オープンファクトリー Vol.16

昨年度、近畿経済産業局では、東北・関東・四国局の各局と連携し、「共通目的」を持つコミュニティがイノベーションを起こす事例として、「地域一体型オープンファクトリー」に着目し、地域企業が群となって「オープンイノベーション 2.0」を体現する要件について調査・分析を行ってきました。そのうち、地域の特性・個性を活かした Social Good を生み出すコミュニティを「Local X Lab.」として位置付けています。

今年度においては、既存の業種や商習慣の枠組みにとらわれず、国内地域における「オープンイノベーション 2.0」を加速化させるため、どのような「要素」が「Local X」になりうるのか、各地の実例（ロールモデル）を発掘します。これらを通じて、VUCA 時代における国内の次代産業クラスター政策としての「Local X Lab.」の多様な可能性を明らかにすることを目的に、各地の様々なコミュニティで活躍するキーパーソンの方々による公開討論会を開催します。

会場

武生中央公園内
まさかりどんの館

福井県越前市高瀬2丁目27-7-1

※8月26～27日開催の千年未来工芸祭にご協力いただき実施

主催

協力

事務局

経済産業省近畿経済産業局

千年未来工芸祭

株式会社地域計画建築研究所
(アルバック)

開催日時

2023 8.27

SUN

14:45 - 17:00

参加無料



各地のコミュニティ・キーパーソンによる事例紹介 (Local X)

14:45



つなぐ - 伝統と革新 -

株式会社能作 代表取締役社長 能作 千春氏

富山県高岡市出身。神戸学院大学を卒業後、アパレル関連会社で通販誌の編集に携わったのち、2011年に家業である株式会社能作に入社。2016年に取締役に就任。2018年に専務取締役に就任し、能作の“顔”として会社のPR活動に取り組む。2023年3月20日、代表取締役社長に就任。

2017年の新社屋移転を機に、地域内外の様々なプレイヤーと連携し新規事業を立ち上げた経験から、地域発イノベーションの可能性をご紹介します。



SHAPING THE FUTURE

Konel.kanazawa Inc. 代表取締役 宮田 大氏

Konelは未来を実装する、越境クリエイター集団。「アートとテクノロジーを融合させ欲望を形にし、世界に問いを投げかけます」をキャッチフレーズに、国内外様々な大企業、クリエイターが複業的に交わり、アイデアを発信し、生み出し続けることで、社会の新たな価値の可能性を創り出すサードプレイスとなっている。

「場」にとらわれない共創の可能性を、実例と共にご紹介いただきます。



「個」ではなく「集」で行う、共創ブランディング

株式会社友安製作所 代表取締役 友安 啓則氏

高校からアメリカへ留学、City University of SeattleにてM.B.A.を取得。2004年に父が営む線材加工製造業の友安製作所へ入社し、インテリアの輸入商材を販売開始、2016年代表取締役社長に就任。

ものづくり日本大賞を受賞した「みせるばやお」の代表理事をはじめ、全国初、広域連携による地域一体型オープンファクトリー「FactorISM」の副実行委員長を務める。クリエイティブを活用し、まちづくり事業を様々な地域でも多数展開。これまでの経験からものづくりのイノベーションについてご紹介いただきます。



ものづくりのまちじゃない場所だから出来た文化祭

有限会社菊井鋏製作所 代表取締役 菊井 健一氏

1987年祖父の代から続く理美容ハサミ製造工場の家系の長男として生まれる。高校卒業後、京都大学工学部に入学。京都の土地柄、文化に触れるなかで「祖父の代から続くものづくりの伝統の灯を絶やしたくない」という想いが強まり、大学卒業後すぐ、有限会社菊井鋏製作所に入社。2016年、28歳で3代目として事業承継。

和歌山ものづくり文化祭 実行委員長として、これまで交流のなかった異業種の企業が「文化祭」という同じサードプレイスに取り組むことで、新たなコラボレーションが生まれる土壌を育む取組をご紹介します。

16:20

パネルディスカッション

テーマ

- ① 上手くワークするコミュニティの要件・要素とは
- ② イノベーションを巻き起こすメカニズム など

座長 (ファシリテーター)

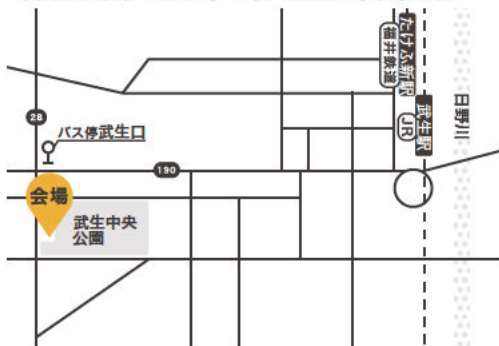
京都橋大学 経営学部 教授 丸山 一芳氏

博士(知識科学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学)。新潟生まれ。松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)、株式会社リクルートワークス研究所客員研究員、事業創造大学院大学准教授等を経て現職。経済産業省近畿経済産業局調査事業オープンファクトリー研究会委員(座長)など歴任。著書に「地域産業のイノベーションと流通戦略」千倉書房(共著)、「地域産業の経営革新」税務経理協会(共著)など。

会場

武生中央公園内
まさかりどんの館
福井県越前市高瀬2丁目27-7-1

- ・JR「武生駅」/福井鉄道「たけふ新駅」より徒歩約20分
- ・福鉄バス：JR「武生駅」/福井鉄道「たけふ新駅」より福鉄バス乗車「武生口」下車、会場まで徒歩約5分



応募方法

以下の情報を記載して、メールにてお申込みください。

記載事項 件名：8/27 フォーラム申込
氏名、所属・役職、TEL、メールアドレス

Mail local.x.forum-1@arpak.co.jp

※右記QRコードを読み込めばメールフォームが開きます▶

※先着順 ※定員50名程度

メールフォーム



Local X FORUM Vol.1 Featuring 関西オープンファクトリー Vol.16

「ものづくり」を活かした
多角的イノベーションの可能性

お問い合わせ先 (事業受託機関：事務局)

株式会社地域計画建築研究所 (略称：アルバック)

京都本社 (担当：山部・倉見・山口)

京都市下京区四条通り高倉西入立売西町82

TEL 075-221-5132

MAIL local.x.forum-1@arpak.co.jp

実施主体 経済産業省

近畿経済産業局 地域経済部 地域連携推進課 (担当：津田・古木)

大阪市中央区大手前1-5-44

TEL 06-6966-6013